



地域連携センター Newsletter

県民健康科学大学の 地域貢献に期待すること

群馬県健康福祉部長 片野 清明



県民健康科学大学は、平成26年度、開学から10年の節目の年を迎えようとしていますが、近年、大学については教育・研究機能に加えて、社会貢献の重要性が強調されています。もとより、県民健康科学大学が行う教育や研究の活動それ自体が社会への貢献活動にほかなりません。また、地方自治体である群馬県が設置する大学として、地域の保健医療分野を支える人材の育成に果たしてきたその役割には、極めて大きなものがあると思います。

一方で、県民健康科学大学の学則は、「知識と技術の教授研究」、「保健医療専門職者の養成」とともに「研究成果の地域還元」による、県民の保健医療福祉サービス向上への寄与を目的として定め、改めて大学の地域貢献活動を求めています。そうした中で、大学においては、地域貢献に取り組む組織の設置について早くから検討が行われてきましたが、平成22年度からの2年間に大きな進展がありました。看護学部が主体となって検討が進められてきた看護教員の養成講習事業が具体化するとともに、東日本大震災による原子力発電所の事故にともなう放射能汚染問題に関して、診療放射線学部の人材と知見が、県民の安全と安心の確保に貢献しました。

こうして、平成24年4月の地域連携センターの開設にあたり、主な6事業(すなわち看護学教員養成、県立病院連携、看護職研究支援、放射線教育・研修、放射線測定評価、教育普及の各事業)による取組の体系が整いました。それぞれの事業は、両学部により構成される県立大学ならではの強みを活かしており、今後、事業の継続した展開と充実を通して、保健医療サービスの現場で働く専門職を始め、広く県民の期待に応えていただけるものと確信しています。

昨年10月、本県の老年人口比率は25.8%となりましたが、現在、国を挙げて、団塊の世代が後期高齢期に達する2025年を念頭に社会保障制度改革の取組が進んでいます。少子高齢化と人口が減少する社会の中で、地域の保健医療サービスを維持し向上させるためには、医療専門職の業務範囲の見直しなど、これまで以上に活躍の場の拡大が求められ、専門職人材も含めた地域資源の一層の活用と効果的な連携も不可欠です。

地域連携センターには、主要事業の充実した展開はもちろん、こうした時代の潮流を見据えながら、群馬県内の各地域の特性や抱える課題と大学の有する知的財産や研究成果との双方向的な受発信の場として、学内的には両学部間や学生と教職員間の、そして対外的には大学と社会や県民との間のインターフェイス機能の発揮を期待しています。

新着情報

平成26年度から「公開授業」がスタートします！

親しみやすい科目を中心に、学生以外の方も受講できるようにした授業で、毎週、学生と一緒に学んでいただきます。前期は4月から、後期は10月から開講します。受講料は無料です。事前にお申し込みください。詳細は、本学ホームページ等で御確認ください。

講義名	開講日
群馬県民の文化と生活	前期 水曜 13:00～14:30
「環境と健康」概論	前期 木曜 14:40～16:10
「人間の発達と健康」概論 (通年)	前期 金曜 9:00～10:30 後期 月曜 14:40～16:10

平成25年度活動報告

特集【教育普及事業】

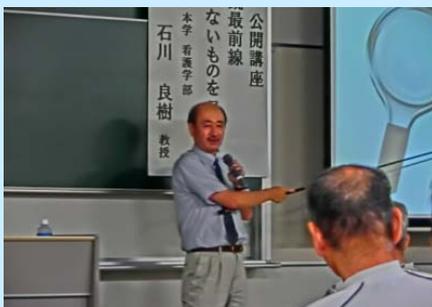
県民を対象とした公開講座や講演会を開催し、地域の方々に本学の教育と研究の成果を還元することを目指して活動しています。また、群馬県広報課が実施する「出前なんでも講座」に登録し、本学の教員が、希望する団体からの依頼に基づき出張講座を行っています。



教育普及事業を担当する松田副地域連携センター長

公開講座

顕微鏡最前線 —見えないものを見る話—



今まで不可能だと思われていた生体分子の動きの観察が、どのような工夫によってできるようになったのか、演者の体験も交えながら解説されました。

MRI装置の話



平成24年度に導入した最先端のMRI装置を県民の皆様にも公開するとともに、実機を利用した演習を行い、データ収集等の操作もしていただきました。

乳がんと向き合うために



乳がんやそれへの向き合い方についての講義に加え、モデルを使い、実際に乳房のしこりを触って感じ取れる体験をしていただきました。

Message 参加者の声

桂萱地区自治会連合会長・西片貝町自治会長 鹿野 守也 さん

県民健康科学大学の公開講座には以前から何度か参加させていただいていましたが、地域連携センターが開設されたとお聞きし、今年度は早速、初回の「顕微鏡最前線」に参加しました。講師の石川先生のお話は非常に興味深く、楽しく学ばせていただきました。専門的なお話は難しくもありましたが、新たな知識に触れる良いきっかけになったと実感しています。今後は大学ならではの「健康」や「医療」といったテーマの講座を是非拝聴したいと思いました。健科大が地元を重視して下さっていることは嬉しく思っています。私も大学と同地区に生活する者として、お互いに地元での活動へ協力し合っていきたいと思っています。



出前なんでも講座

「うっかりミスはなぜ起きる」、「職場のストレスとストレス対処法」、「睡眠環境を調える」、「高齢者のうつ病と関わり方」、「放射線の影響について」、「デジタルカメラとパソコン活用」等、約40テーマのメニューを用意しています。今年度は100件以上の申し込みを受け付けました。メニューの詳細は、本学ホームページを御参照ください。

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL: 027-235-1211 FAX: 027-235-2501 URL: <http://www.gchs.ac.jp/>